

ふれあい情報

2021年 2月 24日 (水) 第324号

■発行 日本退職者連合
 ■発行人 野田 那 智子
 ■連絡先 〒101-0062
 東京都千代田区神田駿河台 3-2-11

<TEL> 03-5295-0507 <FAX> 03-5295-0541 <e-mail> ntr@sv.rengo-net.or.jp

第204国会に向け 政策・制度、コロナ対策 各政党に要請

立憲民主党へ要請



人見会長から枝野代表に要請書を手交 近藤委員長・逢坂代表
 特命補佐・森屋議員 (枝野代表となりから)

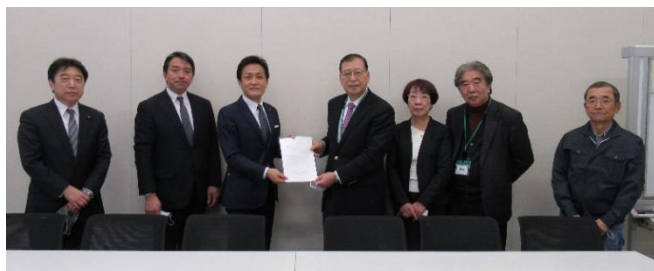
2月12日、立憲民主党からは枝野幸男代表、近藤昭一企業・団体交流委員長、逢坂誠二代表特命補佐、森屋隆参議院議員の出席のもと要請を行いました。冒頭

退職者連合は、第204回通常国会に向けた重点政策要求の実現を求めて、2月8日から17日にかけて「第204回通常国会に向けた政策・制度要求」「新型コロナウイルス感染症対策についての要求」「日本オリンピック委員会における森喜朗会長の女性差別発言に抗議する談話」を立憲民主党、国民民主党、社会民主党、公明党の各党へ提出し政策課題の実現に向けて協力要請を行いました。(政策・制度要求については前号に骨子を掲載)

退職者連合人見会長から「第204回通常国会に向けた重点政策・制度要求を国会の中で取り上げて頂きたい」と要請しました。枝野代表からは「コロナ感染症対策が進まない。その背景になっているのが医療・介護などの現場の弱さ、脆弱さで、高齢者の皆さんには切実な不安感を持つておられると思う。安心できる状況をつくるよう国会の内外でやっていく」と挨拶がありました。要求の実現に向けて活発な意見交換が行われ、高齢者窓口2割負担導入については党から「公費負担の拡充により、現役世代の負担を軽減し、負担構造改革を早急に実行すべきであり、問題意識を持つて取り組む」と決意が述べられました。最後に人見会長は、「4月には補欠選挙。また、解散総選挙も近い。政治の流れ

国民民主党へ要請

を変えるよう奮闘を期待している」と激励しました。



人見会長から玉木代表に要請書を手交 榛葉幹事長・足立議員 (玉木代表となりから)

2月8日、国民民主党への要請行動を行い、国民民主党からは玉木雄一郎代表、榛葉加津也幹事長、足立信也参議員、杉田祐一郎長が対応しました。玉木代表は「コロナ禍で弱い立場の方に様々な影響が生じている。コロナ難民、また格差拡大で就職氷河期の方、40〜50代の非正規の方が影響

を受けている。全世代型の社会保障の観点で対策を講じていく。森発言についてはILO111号条約の批准まで遡って考える必要がある」「国際社会の中での日本の名誉、地位にも繋がり、ジェンダー観点からもしっかり対応していく」と述べました。退職者連合からは「窓口負担について、能力に応じて払うのは保険料や税であり、病气やけがの時の扱いは平等にすべき」と医療サービスを受ける段階で負担に差をつけるのはいかなるものかと訴えました。また、「コロナ感染症対策で強権的になるのはよくない。必要な支援を実施することで市民の理解と協力を得るようにしてほしい」と要望しました。

男女平等参画推進のための第9回学習会 開催のご案内

日時 2021年3月25日(木) 13:00~16:00

場所 連合会館2階「大会議室」

内容

(1)退職者連合男女平等推進委員会の取り組み報告

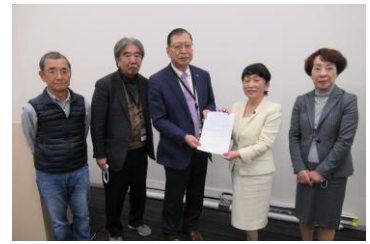
(2)講演 「コロナ禍のジェンダー平等課題」

講師 尾辻かな子さん (衆議院議員・立憲民主党)

参加数 100名程度

締切 3月5日(金)まで (FAXまたはメール)

社民党へ要請



2月9日、社会民主党への要請行動を行いました。社民党からは福島みづほ党首（写真右から2人目）が対応しました。党首は「退連の政策・制度はアップグレードされていて、ジェンダー平等、家庭内DV、介護保険制度等重要なことを要望している」と評価しました。

424に上る公立病院・公的病院の再編統合の問題にふれ、「地域住民の不安を考えると統合再編の動きを止めたい」、「コロナではっきりしたのは公共サービスを細分化したこと」が病院、保健所の機能後退に繋がっている」と指摘しました。

公明党へ要請



2月17日、公明党への要請行動を行い、公明党からは里見隆治労働局長、高橋光男参議院議員、宮崎勝参議院議員、こしみず恵一元衆議院議員（写真真中から右へ）が出席しました。人見会長は「公明党への要請は初めて。今国会で審議される後期高齢者窓口2割負担の所得基準を巡って努力して頂いた。また、核兵器禁止条約の発効に共通認識を持つて一緒にやっていきたい」と挨拶しました。退職者連合から、「コロナ禍で生活困窮者が増えており、公助を充実すべき」との要請に、里見労働局長から「公助の部分をもどくするように厚くするかが我々各党の中で役割」「コロナ禍で深刻になった孤独・孤立問題に対応していく」と力強い表明がありました。

北海道退職者連合 男女平等参画への歩み



北海道退職者連合副会長 山根正子

過日、日本オリンピック委員会が「女性理事の数を40%に」との方針を掲げていることに関して、「女性が入る理事会は時間がかかると」とオリンピック組織委員会の森会長（当時）が発言したことが物議を醸しているとの報道があった。裏を返せば、女性理事が会議にしっかりと参加して議論参加しているということであり、この指摘は本末転倒のことではないか。

「男女平等参画」を方針に掲げ、見える形での取り組みを進めていることを誇りに思っている。男女平等参画推進委員会を設けるとともに、「より女性の参画を進めるために」を目標に掲げ、女性幹事を中心とした女性ネットワーク会議を立ち上げることができた。女性自身の意識の変容こそがジェンダー平等を前へ進める足がかりになると確信し、現在、女性集会、学習会の設定、連合女性委員会との連携、会員への情報の発信などに取り組んでいる。集まりの都度、「問題意識を持ちながらも発言にはなかなかつながらないこと

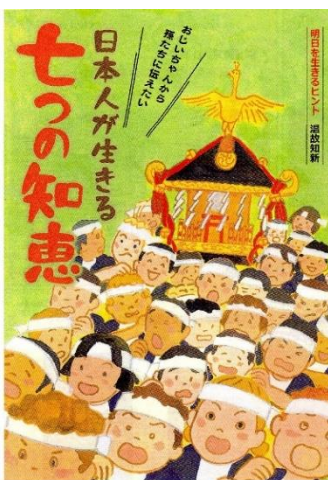
を克服して発言していこう」と確認しながら取り組みを進めた。道退連では、幹事の女性枠はあったが、結成以来女性の副会長は存在したことがなかった。しかし、一昨年ようやく女性の副会長の誕生を見ることができた。事務局段階での前向きな取り組みがなかったら実現しなかったことと感謝している。周りの景色を変えることは容易なことではないこと、身をもって感じている。

アメリカの副大統領ハリスさんの「私は初めてだけれど、終わりにはしない」、との弁が身にしみる。男女平等参画への取り組み、前述の森前会長のような発言を許さないためにも、しっかりと取り組んでいかねばならないと思うこの頃である。

書籍紹介

お孫さんへのプレゼントにどうぞ！

若者たちが、次の時代を世界に向かって歩んでいくにあたり、「感性でたどる日本再発見の旅」の本をご用意しました。



■仕様：B5版 120ページ カラー写真169枚掲載
 ■価格：2,000円（消費税別）2,200円（消費税込） 送料：無料
 ■発行者：ニューミレニアムネットワーク株式会社
 〒285-0817 千葉県佐倉市大崎台4-27-7 <http://www.nnmille.co.jp>
 電話：043-290-9410 ファックス：043-290-9420
 e-mail: desk@nnmille.co.jp

第12回 連合・ILEC 働く仲間とその家族の公募展

幸せさがし文化展

●俳句・川柳・写真(データ応募)部門
 募集期間 2021年 2月1日(月)~5月31日(日)

●絵画・書道・写真(プリント応募)部門
 募集期間 2021年 4月1日(木)~5月31日(日)

大賞賞金 10万円 作品募集 絵画・写真・書道・俳句・川柳
 どなたでも応募できます!